

マンホールカードを配布しています

マンホールカードとは・・・

下水道の広報活動の一環として、全国で580自治体から780種類以上発行されているカード型のパンフレットです。

 マンホールカードをもらうには

簡単なアンケートにご協力いただくことで、無料で配布しています。

 配布場所・時間

長野駅内東西自由通路にある長野市観光情報センター
9時から18時

 どんなことが書いてあるの

マンホールの写真とデザインの由来、またそのマンホールの設置場所が座標で書かれています。

※電話での予約や、郵送対応は受け付けておりませんので、ご注意ください。

— こんなときは —	連絡先	営業時間など
水道の使用開始、中止		
口座振替の申込み、名義等の変更	026-244-3232 シーデーシー情報システム株式会社 長野営業所	午前8:30～午後8:00 *日曜、祝日、年末年始 (12/29～1/3)を除く
使用水量、水道料金のこと		
水道水が濁った 水が出ない	026-241-1132 水道維持課	24時間365日対応
道路で漏水や 水管の破裂を発見したとき		
宅地内の漏水や水まわりの トラブルなど	施工した工事店へ (長野市指定給水装置工事事業者)	
工事店が不明な場合や 連絡が取れないとき	026-241-0893 長野市水道工事協同組合	午前8:30～午後5:30
水道の水質管理について	026-226-2846 浄水課	〃
水道本管の布設替え工事について	026-224-5073 水道整備課	〃
工事店が不明な場合や 連絡が取れないとき	026-241-1132 水道維持課	
篠ノ井、川中島、更北地区及び信更地区の一部地域にお住まいの方は県営水道の区域になりますので、 川中島水道管理事務所 026-284-1700 までお問い合わせください。		
下水道の水質管理について	026-221-6456 下水道施設課	平日 午前8:30～午後5:15
終末処理場（東部浄化センター）について		
下水道管の工事や維持管理について	026-224-5074 下水道整備課	〃
戸別浄化槽の設置申込について	026-224-5061 営業課	〃
戸別浄化槽の維持管理について	026-221-6456 下水道施設課	〃

＜編集・発行＞ 長野市上下水道局

●電話：(026)224-5070 ●メール：suisomu@city.nagano.lg.jp

●住所：〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 ●ホームページ <https://www.city.nagano.nagano.jp/site/suido/>

バックナンバーについては、ホームページからご覧いただけます。



ながの水だより

第12号
2022
2月



長野市上下水道局
イメージキャラクター
「みずなちゃん」

長野市では4年に1度水道料金の見直しを行っています。今号では長野市上下水道事業経営審議会での審議結果のほか、将来の課題解決に向けた広域連携について、災害により水道が被害を受けた際の応援活動や災害に備えた訓練の様子をお伝えします。

お知らせ

令和4年度から令和6年度まで

水道料金は据え置きます

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により、1年先送りした水道料金の見直しについて、上下水道事業経営審議会の答申を踏まえ、据置きとしました。

答申の主旨

将来を見据えた定期的な水道料金の見直しの必要性はあるものの、現行料金で料金算定期間においては必要な利益を確保できる見込みとなっていることから、令和元年度東日本台風災害や新型コロナウイルス感染症による市民生活や企業活動への影響に配慮し、今回の見直しでは水道料金を据え置くことが妥当である。

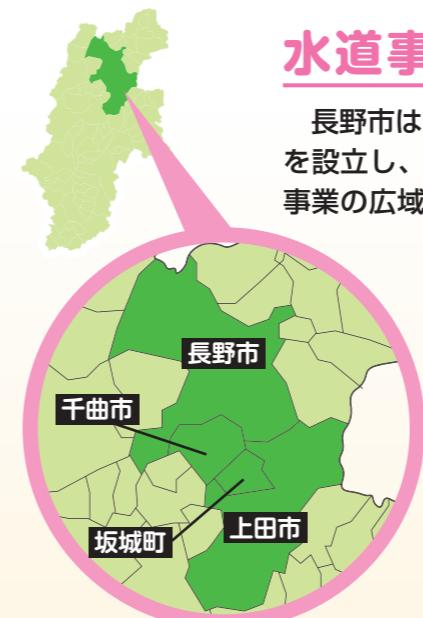


上平上下水道事業管理者

長瀬会長

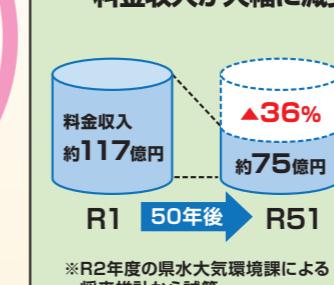
水道事業の広域化について

長野市は、長野県企業局、上田市、千曲市、坂城町と「上田長野地域水道事業広域化研究会」を設立し、施設の老朽化や人口減少に伴う収入の減少など、将来の課題への対策として水道事業の広域化の可能性について検討しています。



水道事業の課題

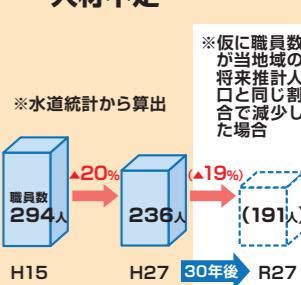
課題1 人口減少などにより、料金収入が大幅に減少



課題2 施設の老朽化などにより、維持管理や更新に膨大な費用が必要



課題3 水道事業を支える人材不足



※課題1～課題3の数値はすべて長野市、上田市、千曲市、県企業局の上水道事業の合計値

広域化とはどういうもの？

水道事業が抱える共通の課題に対する解決策として、近隣の事業体と連携することで費用の縮減を図ったり水道料金の値上げを抑えるなど、持続可能な事業経営の体制づくりのための一つの方法です。

広域化とは、「事業統合」「施設の共同化」などの様々な形態があります。

検討の状況については、今後引き続きお知らせしてまいります。

これまでの検討の経過については、長野県企業局のホームページをご覧ください。



災害に備えて

和歌山市への災害応援を行いました

昨年10月に和歌山市で発生した水管橋の崩落による大規模断水に伴い、日本水道協会中部地方支部の災害時相互応援に関する協定に基づく支援要請により、長野市からは4名の職員、給水車1台、緊急車両1台による応援派遣を行いました。



(崩落した水管橋)



(応急給水活動)

現地の和歌山市では、主に給水所として割り振られた学校等での応急給水活動を実施しました。今回は断水の規模が非常に大きかったため、多くの事業体から合計100台を超える給水車が応援に駆け付けました。

災害時の応援体制はどうなっているの？

長野県で大規模な災害が起きた際には、県内の水道事業体（市町村等）がお互い応援活動を行うよう協定を結んでいます。もしも県内で応援が不足する場合は、日本水道協会中部地方支部を通じて中部管内の他県に応援要請をします。

また、中部管内で広域的に災害が発生し、大規模な応援が必要な場合には、日本水道協会本部を通じて日本中から応援が可能な体制が整備されています。

東日本大震災や熊本地震災害の際には、長野市も応援派遣を実施しました。

今回の災害応援派遣に対し、次のようなお便りをいただきました！

突然水がなくなり、子どもを抱えながらなので大変でした。

水の大切さ、多くの人に支えられている現実を感じました。

遠方からお水を運んできてくれてありがとう。



上下水道局では、災害に強い水道管に順次交換を進めているほか、災害に備えて給水車や資材を用意しています。人間は1日に約2.5リットルの水が必要と言われています。ご家庭でも災害に備えて水を用意するなど、防災について考えてみてはいかがでしょうか。

近隣事業体と協力した訓練を実施して災害に備えています

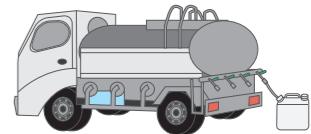
大規模災害により大きな被害を受けた際に、協力して一刻も早い水道の復旧ができるよう長野県企業局、上田市、千曲市、坂城町等と広域災害対応訓練を実施しました。



(給水車への補水訓練)

給水車への補水訓練

災害時に、給水所に水を運搬する給水車に、実際に災害時の給水拠点で水を汲んで給水所まで運搬する訓練を行いました。



先遣隊受入訓練

この訓練では、災害が起きた際の現地災害対策本部を設置する流れと、長野市から派遣される先遣隊の受け入れについての手順を確認し、被害状況の把握や情報共有を行いました。



(先遣隊受入訓練)

先遣隊とは・・・

長野県内で地震等により大きな被害が発生した場合に、被災地の情報収集を目的として、長野市から先遣隊を派遣することになっています。



(応急給水活動訓練)

応急給水活動訓練

災害などで断水となった場合には、給水所を設置して、給水袋で水の配布を行います。この訓練では実際に給水所で給水活動を行い、手順などについて確認しました。



実際に給水所でのお水の配布を体験してもらいました。お水を入れると給水袋は意外と重いから、背中に背負うことができるものもあるよ。